

# 大学出版部

**Association  
of  
Japanese University  
Presses**



大学出版部協会

北海道大学図書刊行会  
Hokkaido University Press

慶應通信  
Keio Tsushin Co., Ltd.

産業能率大学出版部  
Sanno Institute of Business Administration

玉川大学出版部  
Tamagawa University Press

中央大学出版部  
Chuo University Press

東海大学出版会  
Tokai University Press

東京大学出版会  
University of Tokyo Press

東京電機大学出版局  
Tokyo Denki University Press

東京農業大学出版会  
Tokyo University of Agriculture Press

東京理科大学出版会  
Science University of Tokyo Press

法政大学出版局  
Hosei University Press

明星大学出版部  
Meisei University Press

早稲田大学出版部  
Waseda University Press

名古屋大学出版会  
The University of Nagoya Press

関西大学出版部  
Kansai University Press

九州大学出版会  
Kyusyu University Press

---

---

目次

ごあいさつ／幹事長 石井和夫 1

大学出版部と大学出版部協会 2 | 3

大学出版部協会加盟出版部紹介 4 | 19

最近の刊行状況 20 | 21

日本生命財団刊行助成図書一覧 22 | 23

大学出版部協会役員一覧 24

---

---

## い あ い さ つ

大学出版部協会幹事長 石井和夫

大学出版部協会が結成されましたのは、二十二年前の一九六三年六月のことでした。当時、わが国の高等教育は空前の充実をみせはじめ、学術文化の高揚まことにめざましいものがありました。従来、横の連絡に乏しかった大学出版部が、学園の枠を脱して協会を設立するに至りましたのも、それと無縁ではありません。

以来、協会は、すぐれた学術書の普及、学術出版の発展のための調査・研究、関係諸機関との連携、海外のユニバーシティ・プレスとの交流等々を通じて、わが国大学出版部運動の充実・発展につとめてまいりました。その成果の一端を一九八四年の《日本の本》展に大学出版部の本として特別展示し、各方面よりご注目をいただきましたことは、皆様のご記憶に新しいことと存じます。

今後とも、大学における教育・研究・啓蒙の機能を、出版を通じて広く社会に普及すべく微力を傾けてまいる所存でございます。いつそうのご支援とご鞭撻を賜わりますよう、お願い申し上げます。

## 大学出版部と大学出版部協会

大学出版部の使命は、出版を通じて大学の諸機能を社会に普及することにある。『知識を広めよ、遠く深く』とはジョンズ・ホプキンス大学の総長ダニエル・ギルマンが出版部開設にあたって述べた言葉だが、これほど端的に大学出版部の理念を語ったものはないだろう。具体的にいえば、それは四つの柱に集約される。

- (一) 大学のカリキュラムに即した講義テキスト、教授資料。
- (二) 研究開発の成果としての専門学術書。
- (三) 大学の公開（ユニバーシティ・エクステンション）の趣旨にもとづく学術的啓蒙書。
- (四) 学生の人生の伴侶となりうるような教養書。

第一の柱は、明治十九年、東京専門学校出版局（早稲田大学出版部の前身）が「外国のユニバーシティ・エクステンションの例にならない、学校で行われる講義を出版し、学校の教育を学校外に及ぼす」ことを掲げて以来、わが国大学出版部運動の主流をなしている。

第二の点はいうまでもない。アメリカ大学出版部協会はその加盟条件に「その名前を付している大学、あるいはその他の教育機関の学術的な出版機関である」ことを規定し、「もっぱら学術ならびに教育目的のために奉仕すべき」ことを謳っている。大学出版部が時に市販性を欠く書物の刊行に踏みきるのはこの故であり、その点が商業出版社と性格を異にする最も大きな特徴であろう。それゆえに「大学出版部の出版は大学にとって

測り知れない価値をもつ」（ハーパー・シカゴ大学総長）ことになるのであり、さまざまな公的機関や財団がこれを支援する根拠ともなっている。

第三、第四については開かれた大学にとって欠かせぬ部門であるだろう。ここではそれぞれのスクールカラーにしたがって特色あるシリーズ、選書、双書が発行され、一般出版社と企画力を競いあっている。

現在、日本には四六〇校の四年制大学がある。その中で大学出版部をもつものはまだ少ない。一九六三年に結成された大学出版部協会の加盟でいえば、十六大学出版部である。しかし、南は九州・沖縄から北は北海道まで、それぞれが地域の大学を包みこみつつ活発な活動を展開し、協会に結集して、理念の昂揚、助成の確保、共同目録の刊行、全国ブックフェアの開催、国際的な連携等を強力に推進している。それに刺激されて新たな大学出版部設立の機運が各地でみられることは、われわれとして大きな喜びであり、励みである。

もともと大学人と本とは切ってもきれない関係にある。「大学があるから、それに随伴して図書館も本屋も、文房具屋も、映画館も、劇場も食堂もできた」とは、東大の平川祐弘教授が描くアメリカの大学町風景だが、日本だって例外ではないだろう。そこに大学出版部の本は欠かせない。その証拠に、いま、全国の大学図書館で大学出版部の本を欠かさず揃えようという運動が起こっている。大学出版部ならびに協会は「良書の蓄積によって得られる利益」を信じて、今日も本づくりに、そして普及頒布に共同、協力の道を開拓しつづけているのである。

# 北海道大学図書刊行会

〒060 北海道札幌市北区八条西八丁目  
北大生協会館内  
電話(〇一一)七四七―二三〇八

設立 昭和四十五年十二月

組織 財団法人(申請中)

会長 有江幹男(北海道大学学長)

理事長 安井 勉(北海道大学教授)

事務局 前田次郎 田宮治男 管波秀樹

職員数 三名

## 現在までの歩み

北海道大学図書刊行会は、「北海道における創造的・地方文化の発掘に努力し」、学術書・一般教養書・大学教科書等の刊行を通じて「教育の普及・学術の振興を図る」ことを目的として、一九七〇年一月に設立され、七一年九月刊行の『主産地形成と商業資本』を皮切りに、現在まで百二十点の図書を出版してきました。

これまでの活動を通じて、北海道における出版の条件が明らかとなり、その問題点もまた次第に浮き彫りにされてきています。流通面における中央集中からくる決定的な不利、印刷・製本等製作上の悪条件など、当初の予想をはるかに越える苦しい状況が

あります。また、この数年来、読書をめぐる諸現象の中で学術専門書をはじめとする出版はますます、難しい事態にたち至っています。

しかし、当会も多くの困難に直面しながらも、各種刊行助成による専門書の出版、教科書、さらには北海道・北大の学問的特色を生かした「北大選書」や地域の自然・生活に根ざした市民向けの図鑑・写真シリーズなどを企画し、大学の内外において一定の評価を積み重ねつつあります。

## これからの見通し

北海道という場で出版活動を持続してゆくためには、明確な理念の確立と一つの経営体としての確・緻密な政策、そしてそれをやり抜く姿勢がとりわけ強く要求されているといえましょう。歴史の大きな流れの中で、大学の意味、そして大学出版部の役割が再び問われはじめています。大学と出版の接点で新しい時代をどう分析し、どのような活動を展開していけばよいのか。

加うるに、地方における出版という位置づけを踏まえ、北海道を基軸にしながら「地方性」に埋没することなく、日本、世界を照射し、歴史の評価に耐えうる出版を行なうにはどうすればよいのか。試行錯誤しつつ、新しい「知」のあり方の把握を目指して進みたいと思っています。

中央・地方、規模の大小に関係なく、どこで出版されようと、すぐれた本はすぐれた本という白明の理を厳しく認識し、問題意識を明確にした出版を一つ一つ実現してゆくことが、東京中心の日本の文化状況を掘り崩し、真の文化をつくりあげてゆくことにつながるのではないのでしょうか。

## 主な既刊書から

- 金融資本論研究 松井 安信 編著  
北海道町村制度史の研究 鈴江 英一 著  
シンポジウム・アイヌ 植原・吉崎 他  
教材憲法判例〈第二版〉 中村睦男 他編  
写真集 北大百年 北海道大学編  
スズメバチ類の比較行動学 松浦・山根著  
寒冷地域の自然環境 福田・小崎・野上編  
水の科学 前野 紀一 著  
新版 北海道の花 鮫島・辻井・梅沢 著  
札幌から見える山 朝比奈・鮫島 編

# 慶應通信株式会社

西 108

東京都港区三田 2-19-30

電話(〇三)四五二—三二六八

設立 昭和二十二年十一月  
取締役会長 富田正文

代表取締役社長 道祖土廣一  
（慶應義塾大学名誉博士）  
現在までの歩み

当社は太平洋戦争終結後の昭和二十三年一月、教育の機会均等の理念に基き慶應義塾が我が国で初めて大学教育をひろく一般に開放する意味で文学部・経済学部・法学部の三学部について通信教育課程を開講すること、なったが、これが実施に当りこの事業に付帯する業務の一環としての大学通信教育教材の刊行及び配本並びにこれに関する事務の一部を受託することを目的として設立された会社である。

当初は慶應通信教育図書株式会社と称した。当時多くの困難に直面しながらも慶應義塾は我が国に於ける最初の試みである大学通信教育の育成に鋭意努力を重ね、当社も事務的諸手続の面で全面的に協力してきた。かくしてその後通信教育事業も順調に

発展し漸次軌道に乗って来たので、昭和二十七年より現在の社名に改め通信教育教材の刊行のかわら學術図書の刊行を行うようになった。かくの如く当社は設立以来慶應義塾とは密接な関係にあり、通信教育事業以外に於ても塾内で編集される各種の學術雑誌・機関誌等の受託制作並びに諸種の出版物の刊行等に協力している。慶應義塾は出版部を持たないが、当社の性格・事業の内容等から判断して現在のところ当社が慶應義塾の出版部に相当するであろうと考えられた結果、昭和五十五年十二月に大学出版部協会に加盟すること、なった。

一方一般教養図書をも手掛け、殊に九州大学教育学部と医学部の有志の緊密な連携のもとに編集している雑誌「教育と医学」は創刊三十年、今や教育界におけるユニークな雑誌として高く評価されている。

当初は極く兼業的なものであった出版部門も三十年を経た今日では通信教育関係の事業部門と並んで一つの柱となっているの

が現況である。その出版分野も法律・政治・経済経営・社会学・心理学・特殊教育関係・語学その他社会科学の全般に及び、新刊発行点数も年を追って増えつ、ある。

今後の当社の方針は勿論通信教育関係の仕事が第一であるが、それと並行して慶應義塾関係の學術、研究書籍と特殊教育の分野の書籍及び一般學術図書の刊行になお一層の力を注ぎ発展せしめる考である。

## 当社の分類別発行点数

法律・政治	六五〇点
経済・経営	三〇〇点
社会	一八〇点
心理学・精神医学	二二〇点
特殊教育	三〇〇点
歴史	一五〇点
哲学	九〇点
教育	八〇点
文学・随筆・評論	二一〇点
語学	七〇点
福沢論吉関係	七〇点
月刊雑誌 教育と医学	七〇点

（昭和二十八年創刊）

# 産業能率大学出版部

〒158 東京都世田谷区等々力6-39-15  
電話(03)724-9101

設立 昭和四十年三月

組織 学校法人

理事長 上野一郎

部長 小野沢公男

職員数 十六名

## 出版部の発足

昭和十六年上野陽一が日本能率学校を設立。二十五年に産業能率短期大学に、五十年に産業能率大学(四年制)を開校する。出版部の正式の発足は、当時まだ短期大学であった昭和四十年である。

その前身は、昭和三十年に発行をはじめた「能率ガイド」という雑誌である。三十二年に誌名を「マネジメントガイド」と変え、当時としては数少ない、月刊の総合経営誌としてスタートする。その後、雑誌の刊行を続け、昭和四十年にこれらの伝統を生かして、経営・管理書を中心とした単行本の編集・発行を、本格的にはじめる。

## 昭和四十年～四十五年

最初の単行本は、経営学の原点の一つと

いわれるF・W・テラーの「科学的管理法」で、訳者は、当学の創立者でもあり、日本におけるテラーの紹介者でもある上野陽一による。

時を同じくして、当学が中心(産業教育、セミナー等)となって紹介した「目標管理」が産業界で話題となりはじめる。目標管理の考え方は、組織の全体目標と個々人のもつ目標とを相互に関連づけ、すなわち組織の目標を達成することが、すなわち組織の全体目標につながる、というものである。「目標管理の進め方」「目標管理の考え方」「目標管理実践マニュアル」等が刊行され、爆発的な売れ行きをしめした。

同じく四十年に、経営・管理論の不朽の名著とされ、いまだにロングセラーを続ける二冊の本を刊行。一つは、ブレイク／ムートン著 上野一郎訳による「期待される管理者像」II マネジリアル・グリッドで、管理スタイルの分析と自己変容、組織開発を説いたものである。もう一つは、ゲグラ

ス・マクレガー著 高橋達男訳による「企業の人間の側面」で、行動科学のライバルであり、X理論・Y理論として名高い。

以上の他、特に昭和四十年代前半は、経営書のうちでも、翻訳本の売れ行きが良好で、代表的な著作を数多く手がけた。その主なものは、S・W・ゲラマン「人間発見の経営」、クリス・アージリス「対人能力と組織の効率」、A・H・マズロー「自己実現の経営」同「人間性の心理学」、H・ヒックス「人間行動と組織」等である。

## 昭和四十五年～現在

日本企業の成長とともに、この頃から、訳本より、書き下し本が、売れはじめた。昭和四十五年に、東芝社長であった土光敏夫著による「経営の行動指針」を刊行。30万部を突破するベストセラーとなる。

その後、土方文一郎著「変動期の管理者」、田辺昇一著「70年代の経営原理」、H・アンゾフ著「戦略経営論」、サイモン著「意思決定の科学」等を刊行。

現在まで、単行本の総点数は、八〇〇余点となり、そのジャンルも、経営・管理から経済、歴史、広告、一般教養書と時代の趨勢とともに、その幅も広がってきている。



# 玉川大学出版部

☎ 194

東京都町田市玉川学園6-1-1

電話(〇四二七)二八一三二二(営業)

設立 大正十二年四月

組織 学校法人

理事長 小原哲郎

出版部長代理 関野利之  
(玉川大学学長、玉川学園園長)

職員数 十六名

玉川学園出版部は、全人教育を標榜する玉川学園の創設(昭和四年)と同時に発足しました。その前身は大正十二年(一九二二)誕生のイデア書院で、昭和二十二年(一九四七)、旧制玉川大学の発足とともに名称を玉川大学出版部と改称、現在に続いています。

イデア書院設立の趣旨は、当時刊行の雑誌「イデア」に次のように語られています。「小原國芳氏(玉川学園創立者)の一生の事業を援助するために生れました。主として、教育、哲学、芸術、宗教に関するものを出版いたします。…真に精神的に文化的に有意義な本でなければ出させぬ…」この原点の精神は半世紀後の今もなお、私

し、確固たる信念をもって、今後も、この車の両輪に比すべき企画の推進を行なつてゆく所存であります。

最近の小部の動向は、教育専攻生必読の古典「西洋の教育思想」全20巻「先賢の思想・業績にスポットを当てた」教育の発見双書・全15巻(いずれも刊行中)を初め、美術・芸術学書として「美術教育学研究」全4巻「近代美学双書」「芸術学研究双書」があります。

さらに、これまで余り問われることのない高専教育シリーズ「大学教授法入門」「大学教授法の実際」「大学の講義法」「大学のカリキュラム」「大学教育の国際化」は有識者の間で静かな反響を呼んでいます。

教育現場向きの実用書としては「幼児・児童の創るシリーズ」全12巻「みんなで作る学校放送」全4巻「絵で語る人形セミナー」全4巻「ピアノあそび」全3巻「新しい学校劇」全6巻」等があり、質の高さと使いやすさの点で高い評価を得ています。他、「玉川選書」等の啓蒙書や研究書などジャンルを超え、時代を捉えた書籍も多く刊行しています。

たちの中に生き続けています。教育理念としては全人教育、方法論としては新教育、対象としては幼稚園から大学までの一貫教育であり、姿勢としては、子と親と教師の三位一体によるチームワークに立つものがあります。こういったことから、玉川学園教育の基本であるとともに、出版活動の指標でもあり、出版の姿勢、出版物の内容を規定して今日に続くものといえましょう。

玉川大学出版部の六十年余の歴史をふりかえる時、そこには大きな二つの潮流を見出すことができます。その一つは、「世界教育宝典」(四八巻)、「小原國芳全集」(四八巻)、「日本新教育百年史」(八巻)などに代表される戦後教育界の指針となった書籍の刊行であり、もう一つは、戦前、児童のためのはじめての百科「児童百科大辞典」(三〇巻)をふくむ八種類の百科辞典の編纂であります。私たちは、哲学的価値体系に裏づけられた教育理念を軸に、たえず論証を繰りかえし、科学的検証を蓄積

# 中央大学出版部

〒192-03 東京都八王子市東中野742-1

電話 〇四二六)七四一三三五一(代)

分室 101 千代田区神田駿河台3-11

電話 (〇三三)二九二一七三二六(直)

設立 昭和二十三年十二月

組織 学校法人

代表者 桃井直造(中央大学事業理事)

総括 長沼末広

営業担当 小林敏克

編集担当 田中 浩

職員数 八名

顧み

本学は、英吉利法律学校創立(明治十八年)の当初から、英米の法律書の翻刻出版や、広く学問を志す人々のために校外生制度を設けて「講義録」を発行してきた。

この法律を实地に応用した実績をかわれて、のちには大審院判決録や行政裁判所判決録の編纂を委託され、逐次「判決録」を刊行するとともに、法律書を中心に数多くの有益な出版をつづけてきた古い歴史をもっている。

かかる伝統を受け継ぎ、第二次大戦中は不幸にして出版事業は中断せざるを得なかったが、敗戦後の昭和二十三年にいち早く

立ちあがり、現在の出版部を創設して『法学説判例総覧』シリーズを精力的に刊行した。

そのご学内に分散して個別的に編集発行していた『法学新報』、『経済学論纂』等の各種の学術機関誌や本学唯一の総合教養雑誌『中央評論』、それに各研究所の『年報』等の編集発行業務を順次併合してきた。現在小部で刊行している雑誌は十六誌にのぼる。

この間大学からの積極的な協力を得るとともに、学外からも広くご援助を得て、法律書はもとより、政治・行政、経済学・財政学、会計学・経営学・商学、歴史、文学・芸術、教育・社会と広範囲にわたる幅広い出版活動をつづけ知的生産機関としての責務を果たしてきた。また多摩への移転を契機として学内では、充実した学術書刊行の気運が盛りあがり、学術の振興並びにわが国の文化向上に寄与することを目的とした「中央大学学術図書出版助成規程」が施行

され、すでに一〇点が刊行されている。これをふくめ、これまで出版した総点数は三七〇余点に達する実績を有する。

## 将来の展望

本学は、無限の展望を切りひらき自由にして創造的な学風を醸成するために、緑ゆたかな多摩校舎を開校してから、八年の歳月を閲した。これからは地域に根ざした文化創造を目指し、多摩の地に新たな地平を拓くために小部は、こんごとも大学といっそう緊密な連携のもとに、権威ある学術書を基底に据えて、一般啓蒙書や定評ある教科書の刊行に専念する。

これらの出版活動を通して、本学の新しい大学づくりに積極的に参加し、学問研究の真価の間われている今日、さらに意欲的な出版事業をつづけたい。

## さいきんの刊行物

「社会思想事典」、「ヨーロッパ民事手続法」、「刀差す身の情なさ」、「地域オピニオンリーダーの研究」、「社会主義経済の現状分析」、「両大戦間の日本海軍産業」、「資本論の心」、「レックスン刑事訴訟法(上)」、「イスラーム法の精神」、「マクロ経済政策」

# 東海大学出版会

☎ 160

東京都新宿区新宿3-27-4 東海ビル

電話(〇三)三五六一五四一(代)

商品管理センター ☎ 166 杉並区和田1-29-5

電話(〇三)三八〇一八七三七

設立 昭和三十七年四月

組織 学校法人

名誉会長 松前重義(東海大学総長)

会長 松前達郎(東海大学副理事長)

出版部長 山田 渉(東海大学事業部長)

出版部次長 加藤千曼樹 総務課長 関口守男

営業課長 岡田栄三郎 編集課長 山本保之介

職員数 二十二名

## 現在までの歩み

東海大学出版会は東海大学の事業機関の一部門として昭和三十七年発足以来、今日まで一貫して大学と表裏一体の関係を保ちながら歩んできており、今後もその基本姿勢に変わりはない。

二十三年前、『松前重義著作集』全十巻の刊行をもって出版活動を開始してから、今日では新刊総点数も八九〇点をかぞえ、年間の新刊刊行点数も五〇点(他に受託出版物・紀要が約四〇点)を越えている。

大学と出版部門が一体にしてはじめて刊行できるもの、すなわち松前総長の建学の

精神を根本においた講義である『現代文明

論』をはじめ、大学教育に必要な各学問分

野にわたる教科書(他大学からも多数教科

書として採用されている)や専門書の刊行

が行なわれている。

また海洋学部をもつ大学にしてはじめて

実現可能な『日本産魚類大図鑑』『海洋科学

基礎講座』、古典を原著対訳で出版した『東

海大学古典叢書』、教育分野では『新地学

教育講座』、『自然をしらべる地学シリーズ』

『生物学教育講座』、音楽関係では『音楽史

シリーズ』、情報化時代に対応する『マイコ

ン活用シリーズ』と新シリーズ『デジタル

ルテクノロジーシリーズ』、自然と生活を結

ぶ『フィールド図鑑』、健康と医療をテーマ

とした『ライフサイエンスシリーズ』等は

いずれも本書の特色をいかんなく反映した

刊行物といえよう。

特に『日本産魚類大図鑑』では皇太子明

仁親王殿下みずから「ハゼ」の項目を執筆

され話題を提供したことは、耳新しいといこ

ろであらう。

小会のPR誌『科学サロン』も三十三号を数え小粒ながらアップツウワデイトな話題に鋭い切れ味をみせた小冊子として各方面からの評価も高い。

## こころの抱負

既刊総計九〇点を越える『東海選書』と

『東海科学選書』は、広く学術文化の普及

啓蒙の役割を果たしてきたが、さらに人文

・社会科学と自然科学との両領域にまたが

る国際的分野のすぐれた成果の開拓に力を

注いでいく方針である。

また国際的文化交流のかけ橋として、国

内研究成果の欧文による刊行を増大し、海

外への普及と販路の伸長を期したい。

## 当出版会の最近の特色ある刊行物

漢字学―『説文解字』の世界、改訂版流れの

科学(東海科学選書)、カウントダウン―宇

宙戦争への秒読み(著者B・ヤサーニ氏を招聘

しシンポジウム開催)、自然の造形と社会の

秩序、都市問題の系譜(東海選書・国際交

通安全学会賞)、日本の選択―開国・鎖国の歴

史と未来、人類学、統計解析・パッケージ

(パソコン用ソフトの開発)等

# 東京大学出版会

設立 昭和二十六年三月

組織 財団法人

会長 森 巨（東京大学総長）

理事長 田中英夫（東京大学法学部教授）

専務理事 石井和夫

常務理事 多田 方・齋藤至弘

営業局長 山下 正 編集局長 齋藤至弘

出版局長 別所久一 常任顧問 中平千三郎

職員数 六十六名

南原繁東京大学総長を中心とする当時の東京大学教官有志の支持を得て創設された。設立趣意書には、学術的価値が大であるにも拘らず、経営上採算に合わないという理由で陽の目をみない書物の多いことを遺憾とし、「本会はこの空隙を充たすために大学に於ける研究とその成果の発表を助成するとともに、広く一般書、学術書の刊行により学問の普及、学術の振興を計ることを目的とする」と謳われている。

また東京大学との関係については、①東京大学の研究、教育、啓蒙という三機能に

〒113 東京都文京区本郷7-1-3 東大構内  
電話（〇三）八一—八八一四

対して出版事業を通じて参加すること、②財政法等の制約から国立大学の内部組織とすることは不可能であるが、理念的には大学と離れ難く結びついていること、③大学とは独立の法人ではあるが、本来の趣旨を生かし事業を成功させるため、その役員を東京大学の学部、研究所および大学事務局から求め、その指導を仰ぐこと、④経済的には独立採算制をとること、即ち大学からの補助を受けることはなく事業に要する一切の諸経費を自己の財政で賄うこと、などが、確認されている。

創立以来三十余年、本会は、戦後という時代と共に歩みつつ、本来の使命を忘れることなく着実にその事業の充実・発展に努めてきたが、その成果は、総刊行点数約四千字という数字になってあらわれているといつてよい。

## 出版事業の概要

先にもふれた大学の三つの機能（研究、教育、啓蒙）に対応する学術書、教科書

（大学教材）、教養書を三つの柱とし、フランスをとりながら刊行しよう心懸けてきているが、学術書の比重がどうしても大きくなるのはその性格上やむをえないことである。また、総合大学としての東京大学を反映してジャンルは万般に亘り、かつ発行形態も多様である。単行本の占める比率が大きいのは勿論であるが、講座・大系、叢書・シリーズ等も多く、小会の一つの特色となっている。いまその一部をあげれば、東京大学公開講座（41冊）、東京大学教養講座（11冊）、講座日本思想（5巻）、講座日本歴史（13巻）、現代基礎心理学（15巻）福祉国家（6巻）、現代企業法講座（5巻）、英米法叢書（4冊）、UPアース・サイエンス（13冊）、UPバイオロジー（57冊）、基礎数学（4冊）、UP応用数学選書（9冊）、物理工学実験（9冊）基礎物理学（3冊）材料テクノロジー（5冊）などがある。

また、国際的な学術交流の窓口として欧文出版にも力を注いでおり、その成果はつとに国内外から注目される場所となっている。

# 東京電機大学出版局

〒101 東京都千代田区神田錦町2-2  
電話(〇三)二九四一―一五五一

設立 明治四十年九月

組織 学校法人

理事長 蓮見孝雄

出版局長 高野昭吉

業務課長 原野 勉 編集課長 朝武清実

職員数 十三名

## 現在までの歩み

東京電機大学出版局は、明治四十年に電気と機械の中堅技術者を志す勤労青年のために短期養成を目的に創立した私立電機学校の一つの組織として設置された。

当時は、電気工学といえは最新の学問であり、その参考書はほとんどが洋書で、日本語で書かれたものはわずかに二冊ぐらいしかなかった。

そこで教育の実を上げるためには、短期養成にあつたわかりやすい独自の教科書を作る必要があつた。従つて、出版局(当時は出版部)も教科書作成をまず第一に取り上げたのである。謄写版もない時代で菫蕪

版で印刷した教科書であつた。明治四十三・四年ごろになつて出版局もようやく形をととのえて来たので、電機学校叢書の出版に着手し、大正十二年十二月までに、『模範水力発電所仕様書』をはじめ十三冊を活版で印刷発行におよんだのが端緒であつた

また、校外教授制度(通信教育)が実施されると、その『電気講義録』の発行をまづ行つた。昭和三年に機械科を設置すると同時に、『機械読本』『機械リード』を手はじめに機械関係の分野の出版も行うようになった。しかし、あくまでも主力はいずれも電機学校の教科書であり、そのうち適当なものを単行本として一般に出版していたにすぎなかつた。これらの単行本は電気を学ぶ者の教本としてなかなかの好評であつた。

戦後、私立学校法が施行され、財団法人から学校法人へと組織換えとともに出版局も収益事業として再出発したのである。

昭和二十六年に戦後始めての新刊書、『初等電気』を出版し、啓蒙書として広く世の好評を博した。一方、専門書、実務技術書、受験書の発行にも力をそそいだ。

設立以来内容の正確さ、平易な説明等をモットーに工学書を出版し、既刊一、〇〇〇余点の出版点数を数え、多くの読者から好評を得ている。

## こんごの抱負

本学は開学以来、初代丹羽保次郎学長の電気技術教育の水準をたかめ将来の日本の技術教育を推進させるといふ精神にのっとり、今後も更に技術書の発行に一段の努力をそそいで行くことが大切であると考へてゐる。

## 過去三年間のベスト8

大浜庄司著『シーケンス制御の考え方読み方』／東京電機大学編『電気設備技術基準』／白土義男著『ディジタルICの基礎』／高宮英郎・黒田正文著『BASISICの入門』／斉藤二三四他著『新電気工事士受験テキスト』／溝口貞彦著『フローチャートのかき方』／東京電機大学編『初等電気』／田中謙一郎著『解説電気回路の解き方』

# 東京農業大学出版会

〒156 東京都世田谷区桜丘1-1-1  
電話(〇三)四二〇二二二(大代)

設立 大正十三年

組織 財団法人

理事長 西郷光彦(学校法人東京農業大  
学理事長)

常務理事 菊地徳治 事務局長 行元鐵夫

職員 四名

現在までの歩み

東京農業大学初代学長、横井時敬博士の「大学教育の民衆化運動」に呼応して、大正十三年に東京農業大学出版部が設立され「東京農業大学講義」「農大甲種農業講義」が刊行され、二十数年にわたって農業教育に多大の貢献をして来た。戦後は、昭和二十三年五月東京農業大学刊行会と改め、「農大通信講座」を開講。昭和二十七年三月、「株式会社東京農業大学出版会」と改める。昭和三十三年七月一日、民法第三十四条による「財団法人東京農業大学出版会」が設立認可され、つづいて昭和三十四年十二月、「農大講義」が文部省通信教育の認定を受け、社会教育法による通信教育がここに

発足した。

通信教育は、實際生活に即した知識技能を修得せしめ、さらにこれを基礎として考える力、応用する力を養う事を目的とし、従来の講義録や出版事業と異り、多くの準備と絶えざる研究調査、指導業務の充実を図らなければならない。特に農学分野での通信教育は全く他に例がなく、常に未知なる分野での試行錯誤と悪戦苦闘の連続であった。関係各位のご指導ご協力とたゆまぬ努力が実り、漸く内外にその実績が認められた昭和三十八年、大学出版部協会発足に参画したが、昭和三十九年十月、社会通信教育のより大きな発展の為、学校法人東京農業大学社会通信教育部として発足し、出版会は休眠に入った。昭和五十一年一月、農林省構造改善局の委託調査を受け、復活したが、出版事業は依然として休眠状態が続いていた。昭和五十九年十一月六日、役員を改選、登記を完了し、学校法人東京農業大学の外

郭団体として、出版事業に新たな意欲を燃やして再発足いたしました。

これからの抱負

財団法人東京農業大学出版会が今後取り組む課題として、バイオテクノロジに象徴される最先端・科学技術の紹介である。これらは現在、研究成果の一部で一般活用には至っていないが、その先端技術の紹介は、活字文化から既に電子工学の発達と普及により視聴覚の分野に移行され迅速且つ要領よく伝達される時代となっている。従って、今迄専門視されてきた技術は大衆化された趣味の分野に移り、素人も容易にその作業ができたり、材料も手軽に入手できる状況下にある。これらの傾向を踏まえ、東京農業大学の各研究室の斬新な研究成果を加味し、更に時代と社会ニーズに対応した専門分野をより多くの人に理解され、活用されるよう、出版を通して文化を創造し伝承することを念願している。これからは、社会構造の変化と価値観の多様化促進と共に多趣味化時代を迎える事を想像し、それぞれ異なった社会様式を総合的に捉え、活用できるように、この出版事業を推進していきたい。

# 東京理科大学出版会

〒162 東京都新宿区神楽坂一—三

電話(011)260—4171(代)

(011)235—5692(直)

設立 昭和五十九年六月

組織 株式会社

代表取締役 橋高重義学位  
理専長

出版部長 鈴木武敏

営業担当 能城 隆

編集担当 鈴木増男

職員数 五名

現在までの歩み

本出版会は当初、東京理科大学の組織の一部門として発足し、その後株式会社に変更したが、現実の出版活動の基盤は、大学の歩みと共にあることには変わりない。

本学は明治十四年に東京物理学講習所として創設されたが、学校教育と併行して明治二十二年に「東京物理学同窓会雑誌」を創刊し、同二十五年に「東京物理学学校雑誌」として一般に市販、爾来雑誌を通して理学の普及に大いに貢献してきました。

しかし、本誌は戦時の物資不足のため、昭和十九年三月第六二八号で休刊のやむなきに至りました。

一方、昭和に入り、同七年四月には「算術教科書」「統算術教科書」「代数学教科書」「解析幾何学」「物理学通論上」「近世化学通論」を一年生用教材として発行し、ついで同十五年には、「改訂物理学通論」「微分積分学」「新改訂近世化学通論」を刊行しています。

現況について

本学は一貫して日本の科学教育を担当してきたしており、特に理科教育の振興に力を注ぎ、中学・高校教員の養成に貢献、いわゆる生涯教育の先駆けとしての一面を有していましたことは周知の通りであり、また常にその時代に即した教育研究設備の充実に意を用いて、実験・実習に重点をおいた教育は、特筆に値するものといえます。

今回このような過去の伝統をふまえて、当出版会としては、まず、「東京物理学学校雑誌」の復刊とともに、日進月歩の科学技術の進展、多方面にわたる学際領域の広がりなどに対応できるよう同窓会雑誌発刊九十

五周年の昨年、昭和五十九年六月を期して、科学教養雑誌「SUT Bulletin」を発刊しました。

本誌は、科学の新知見・新技術が人間性の高揚、人類の繁栄にどのように寄与すべきかを常に問いかけて、誰にでも楽しく科学知識を読み取れるように、平易な文章で綴り、さらに高度なインフォメーションであることをモットーに編集しております。

次いで昭和六十年四月より左記教科書の刊行を手始めに、書籍の企画・編集発行に本格的に活動を行う予定であります。

●新刊 PL/I による数値計算入門／長田純一・東田幸樹・山下 正・山本芳人／ハードウェアシステムの基礎知識／山崎克典／入門化学分析／吉森孝良／数値解析の基礎／大島邦夫／人工知能入門／太原育夫  
今後は雑誌「SUT」の販売拡大に努めるとともに、大学の理念であります生涯教育と、科学知識の啓蒙・普及を礎に、大学と一体となって、本学独自の特色ある伝統を生かした科学教養書をはじめ、大学教科書、専門学術書の刊行を意図しています。また、新しい出版媒体にも進出すべく努力しています。

# 法政大学出版局

〒102 東京都千代田区富士見二一七七一  
(法政大学内)  
電話(〇三)三三七一一七三二

設立 昭和二十三年十二月

組織 財団法人

理事長 青木宗也(法政大学総長)

理事・局長 松岡磐木(法政大学教授)

理事(編集代表) 稲 儀平

理事(営業代表) 阿部好文

職員数 十一名

◎法政大学創立七十周年記念事業の一環として設立された。処女出版は二十四年四月刊のJ・ハーシー『ヒロシマ』、史上初の原爆記録である。これを皮切りに翻訳や教養書を精力的に企画刊行し、戦後啓蒙期に大学拡張の役割を果たした。三十年代後半には研究書・教科書に重点をおく。四十年代に入るや後述の諸企画を開始、今日に至る。創業以来三十五年、千二百点余を世におくり、二十年ほどは毎年五、六十点の新刊を刊行している。設立当初から財団法人として組織的・経営的には独立しており、機関運営においては大学の理事者・教員を迎え事務局専任理事として理事会を構成、大

学との密接かつ有機的な関係を保つ。

◎専門研究書・教科書・一般教養書の三部門、オリジナルと海外文献の翻訳・紹介の両面、その調和と連携に留意しつつ、人文・社会科学を中心に総合的な学術出版を目指す。従って、書き手は大学の内外を問わず、在野にも秀れた研究者を求めてきた。

今日、四十年代前半にスタートした叢書・シリーズ・著作集群が出版活動の骨格をなす。研究書の《叢書歴史学研究》既刊30点《叢書日本文学史研究》12点《叢書現代の社会科学》12点をはじめ、翻訳の《叢書ウニベルシタス》153点《りぶらりあ選書》105点、一般書の《ものと人間の文化史》53点《教養選書》51点《コスモス・ブックス》22点、田岡嶺雲、小田切秀雄、森嘉兵衛、デイドロ、ウナムーノ、カール・クラウス、ピエール・ペール等の全集・著作集、大原社会問題研究所編《覆刻シリーズ・日本社会運動史料》174点等々。他に、八一年ノーベル文学賞受賞者E・カネツェイの日本語版

唯一の版元として『群衆と権力』以下9点、七九年朝日賞受賞者金関丈夫氏の『日本民族の起源』以下12点は、まだ継続刊行中。実質上の全集である(点数は六月現在)。

《叢書ウニベルシタス》の名にこめたように、小局の刊行書全体が書物の形をもつてするユニヴァーサルな大学たらんことを志す。そのために、最前線の知的・思想的営為を広く世界に求め、微細な物や辺境の探索行に従い、両様相まって、より人間的でより現代的な問題性に富んだ学術出版の領野を切り拓いて行きたい。

◎近年の主な刊行書——福井貞子『木綿口伝』／山本武利『広告の社会史』／増川宏一『賭博Ⅲ』／四手井綱英・森林／加藤九祚『ユーラシア記』／中川作一『目と絵の社会心理学』／仲村研『中世惣村史の研究』／江村栄一『自由民権革命の研究』／大原社研編『我等・批判』／モラン『方法I』／クリステヴァ『恐怖の権力』／シヨレム『ユダヤ神秘主義』／サーリンズ『石器時代の経済学』／ルイス『エクスタシーの人類学』／フリース編『インドネシアの民話』／フンボルト『言語と精神』／P・ペール『歴史批評辞典Ⅱ』、その他。



# 明星大学出版部

191

東京都日野市程久保三三七

電話(〇四二五)九一一五一一五

営業所 〇102 千代田区飯田橋四一―十一

信濃ビル 電話(〇三二)三三九一三三三六

をかかっている。

設立 昭和五十年七月  
組織 株式会社  
代表取締役 児玉九十(明星学苑長)  
顧問 児玉三夫(明星学苑理事長・  
明星大学学長)

出版代表 森下恭光

職員 四名

現在までの歩み

明星大学出版部は、児玉三夫学長の「教育の機会均等、門戸開放」の基本理念により、「開かれた大学で生涯教育をめざす」という大学拡張の方策にこたえ、出版、放送、公開講座の実現が具体化され、その一環として出版部門が設立された。したがって出版部は明星学苑の教育理念を大前提にかかっている。

昭和五十年七月、株式会社めいせい出版として設立した出版組織は、学校法人の一部門に属さず、株式会社として独立した部門で明星大学の学問、研究を具現化する使命と、広く一般の学術文化に貢献する目的

めいせい出版の時代は、教科書、通信教育のテキスト等を発行しながら、出版の基礎を固めた。昭和五十一年一月発行の児玉九十『両親教育』は、明星学苑の教育理念を闡明する書として記念すべき出版である。

昭和五十四年、代表取締役児玉九十学苑長、顧問児玉三夫学長に組織変更し、名称も株式会社明星大学出版部として出版、大学出版部としての本格的な出版活動に入った。

出版物の大きな柱は、めいせい教養選書、大学講座、小学校教職講座、哲学講座、占領教育文書シリーズである。そのほかに論文集、講義ノート、語学関係のものが出版され、哲学、社会科学、自然科学と各分野にわたる出版物を刊行している。

昭和五十一年から発行している教養選書は、大学生、社会人を対象に教養に重点を置き、大学講座・小学校教職講座は、明星大学通信教育課程のテキストとして使用さ

れているほかに、一般学生の教科書としても広く使われている。

哲学講座は、内外の哲学者の著書を扱う講座で、現在は海外の哲学者の著書を刊行している。とくにカウルバッハの『カントの行為の理論』と『カントとニーチェの自然解釈』は、カント生誕百年を記念して刊行された書物である。

また、昭和五十八年からは、占領教育文書シリーズの刊行が始まった。現在までにトレイナー回顧録をはじめ、児玉三夫編三巻を出版し、今後も日米双方の資料を体系的に発行する。このシリーズは、出版部の特色のひとつとなっている。

今後は、既存のシリーズ、講座を基礎に、教育学関係全集、各分野の学術書、研究書、啓蒙書の出版を企画中である。

## 主な刊行物

佐藤輝夫『ヨーロッパ文学』、谷口茂『フランス・カフカ論』、児玉三夫訳『日本の教育』、児玉三夫監修『子どもの教育を考える』、新村浩・初見昇・井上正篤訳『ハイチの物語』、藤代幸一・田中道夫訳『ザックス謝肉祭劇選』

# 早稲田大学出版部

〒160 東京都新宿区戸塚町1-103  
電話(03)2203-1155

設立 明治十九年十月

組織 株式会社

代表取締役 落合東朗

編集部長 城下幸雄

編集課長 鈴木吉郎

業務課長 伊藤幹雄

職員数 十名

## 現在までの歩み

早稲田大学出版部は、東京専門学校創立の四年後に、講義録発行の業務を担う東京専門学校出版局として発足した。現在の名称に改称したのは明治三十五年、また組織を株式会社にしたのは大正七年である。現在、株式はすべて学校法人早稲田大学が所有している。

講義録は学校内の正課目の講義を活字にして定期的に発行した通信教育用テキストで、わが国初めての試みであった。その主旨にある「教育を広く学外に普及させる」ことは成功し、受講生の数は大正時代末ま

でに百数十万人に達した。講義録の発行は昭和三十三年に全面停止された。

講義録と並んで単行本・全集・叢書も逐次刊行した。単行本の第一冊目は『政治汎論』（ウイルソン著、高田早苗訳）であり、明治二十八年に出版された。全集・叢書としては『沙翁全集』『大日本時代史』『倒叙日本史』『漢籍国字解全書』『早稲田叢書』などがある。

小部刊行の書目のうち、早稲田大学図書館に所蔵されているものは明治時代約四五〇点、大正時代約二〇〇点、昭和に入ってから約七〇〇点となっている。

最近の年間新刊点数は、三〇〜四〇点である。本年刊行の主なものには、『図録蘭学事始』（杉本つとむ編）、『アントニオ・ガウディ論』（入江正之著）がある。『早稲田選書』の企画がはじまり、『建築とヒューマニティ』（今井兼次著）、『土地所有の構図』（大沢正男著）を出版した。小部の出版分野は哲学、歴史、政治、法

律、経済、社会、文学など幅広いが、これはそのまま早稲田大学の研究成果を物語っている。今日まで小部の歴史が常に順調に推移してきたわけではない。停頓・沈滞の時期があり、文字通り存廃の危機に直面したこともあった。そうした困難な事態を乗り切ることができたのは、大学人が大学出版部の存在意義を認識し、支援を惜しまなかった故である。

## 今後の抱負

大学出版部の特色を生かして、第一に研究者のための学術書、第二に大学の授業に適した教科書・参考書、第三に一般の読者に向けた教養書の出版に積極的に取り組んでゆきたい。

継続刊行物の一、二を挙げると、重要文化財を含む稀覯資料を公開する「早稲田大学蔵資料影印叢書・国書篇」(同行委員会編)、「国際平和を確立するための方策を探る」(講座平和学) (日本平和学会編集委員会編) などがある。

講義録の発行に見るように、「開かれた大学」を目指す創立当初からの理念は、今もわれわれのなかに生きている。

# 名古屋大学出版会

名古屋大学旧古川図書館内

電話直通(〇五二七八一五〇二七)

名大代表(〇五二七八一五一一)(内)三四七〇

設立 昭和六十年三月

組織 財団法人

会長 飯島宗一(名古屋大学長)

理事長 井関弘太郎(名古屋大学教授)

事務局長 伊藤八郎

編集長 稲垣美智子

編集部 月東義博 小林麻子

職員数 四名

現在までの歩み

名古屋大学出版会は、昭和五十七年六月任意団体として発足しました。発足にあたっては、飯島宗一学長をはじめ全学の支持与賛同のもとに、一千名をこえる出資が寄せられました。

発足以来三年間で、三十数点の図書を刊行してきました。文学書から医学書、あるいは欧文図書まで幅広く、意欲的な出版内容になっています。『庭のイングリッド』『教育の原理』『文化と経済発展』『生きること・かわること』などは、すでに版を重ねております。

しかし、経営的基盤および事業の充実をはかるため、昨年来、財団法人設立計画をすすめてまいりました。さいわい自治体、経済界、諸大学あるいは卒業生・学内の多大な協力があり、予想を上回る設立募金が寄せられました。そして、昭和六十年三月文部大臣の許可を得て、財団法人名古屋大学出版会として設立することができました。

会長には、飯島宗一名古屋大学長が就任し、会の運営には学外を含む十七名の理事があたり、日常業務は四名の事務局職員がすすめています。

## 今後の抱負

小会は、財団法人設立にあたって「名古屋大学をはじめ中部地方の各大学における研究成果である学術図書の刊行、学術国際協力、大学の社会開放の諸事業を行い、中部地方の、さらにはわが国の学術・文化の振興に寄与する」ことを目的として掲げております。この目的に向って、すぐれた研究成果の刊行に努めなければと考えていま

す。また、そうした成果の普及という点でも、今後大いに努力するつもりです。

## この三年間の主な刊行書

川崎寿彦『庭のイングリッド』／加藤さだ『英文学植物考』／松岡達也『パシユールの世界』／田浦武雄編『教育の原理』／潮木守一『京都帝国大学の挑戦』／村上英治監『生きること・かわること』／水野正一他編『文化と経済発展』／金日坤『儒教文化圏の秩序と経済』／島津康男『国土学への道』／東海三県地盤沈下調査会編『濃尾平野の地盤沈下の地下水』／市川宏他編『視覚障害とその代行技術』／小林寛道『メキシコの子どもの体力と生活環境』／近藤達平監『人工臓臓の基礎と臨床』／祖父江逸郎『臨床随想』／伊藤文雄『筋感覚の科学』

## 当面の刊行予定書

奥村隆平『変動為替相場制の理論』／ジョージ・ラッシュ著 内田良男監訳『心理テストの確率モデル』／長峯晴夫『第三世界の地域開発』／長谷川博隆編『ヨーロッパ国家・中間権力・民衆』／高村秀一『プラズマ熱学基礎論』酒井恒『ターヘルア・ナトミアと解体新書』

# 関西大学出版部

564 大阪府吹田市山手町3-3-35  
電話(06)3881-1121(代)

設立 昭和二十二年六月

組織 学校法人

代表者 久井忠雄(理事長)

職員 村山 弘 井内雄二 田中 博

赤木一夫他

職員数 五名

◇関西大学における研究成果の発表を助成促進し、学術の振興向上に寄与することを目的として、その範を欧米諸大学のユニバーシティプレスに求め、昭和二十二年六月に関西大学出版部が創設された。本学における出版部設立の要望は夙に久しいものであった。すなわち、歴史的には、関西法律学校が明治十九年十一月に開校された翌年の明治二十年十二月には、『関西法律学校講義録』の第一号が大阪東区南久宝寺町の岡島宝文館から発刊され、この講義録はやがて校外生制度、つまり「筆授生」制度(今日の通信教育にあたる)の設置へと発展した。さらに、明治四十三年十二月には、校友、学生の相互交流機関誌である

『関西学報』が創刊され、学内の学術論文も掲載される運びとなった。このように教育、研究にかかわる刊行物の出版は、その後の本学の発展と相俟って長年月の間に幾多の変遷を経て、今日の出版部における大学教材、論集、および学術書などの出版活動にも継承されている。特に、出版部設立の際の経緯について簡単にふれてみると、終戦後の混乱期の中で、当時の岩崎卯一学長は、本学の再建を指標する「関大ルネッサンス」を提唱して、学制機構改革の一環として出版部を設置し、商業出版社においては出版が採算的に無理であろうと思われるものについても、学術的に価値の高いものについては刊行を行うことよって、本学の研究業績を社会に問うこととした。なお、学術書の出版第一号は、昭和二十九年三月刊、岩崎卯一著「国家の存在性」であった。以来、論集、学術書、教科書などを刊行して、本学の文運に寄与している。

出版部の組織は、学校法人の事務組織の

一部局であって、他大学出版部にその例がみられるような独立した法人組織や、学校法人の収益事業部門としての組織ではないが、本学における出版活動の諸事情を反映して、その機能を充分にはたしている一方、昭和四十六年には、大学出版部協会に加入し、大学出版部の使命達成を目指して鋭意努力している。

因に、昭和五十九年度における論集、紀要の刊行点数は五点で、学術書の現在販売用在庫のあるものが約八十五点、教科書の販売取扱いが二十四点におよんでいる。学術書の出版分野は、多方面にわたっており、特に、古墳発掘調査の考古学関係図書については、すでに在庫のないものがあり、また、『標識のある迷路—現代日本文学史の側面—』、『江戸時代における唐船持渡書の研究』、『秦漢思想研究文献目録』、『エドガー・アラン・ポオ研究』、『英文学におけるユーモアと諷刺の伝統』については版を重ねて、読者の需要にこたえている。

さらには、今後の方向は、「開かれた大学」を指向する大学の方針に則り、出版部創設の精神を充分に発展させ、より汎く本学の研究成果の普及をはかり、以って、わが国文化の向上に寄与するよう努力している。

# 九州大学出版会

設立 昭和五十年三月

組織 財団法人

会長 田中健蔵（九州大学学長）

理事長 水波 朗（九州大学教授）

編集長 藤木雅幸

編集部 平田修子

営業部 鳥井四朗

経理部 水上美保 中村由美子

職員数 五名

## 〈目的〉

財団法人九州大学出版会は、「九州・山口・沖繩の国公立大学の共同学術出版会」という趣旨のもとに立ち、九州一円の広域大出版会という性格を荷なって事業にのぞもうとしている。西日本一帯の各大学における教官並びに民間研究者の研究とその成果の発表を助成し、また民間出版社において採算上刊行を引受けないような優良学術書の刊行、内外学術資料の蒐集及び学術講演等の事業を図り、もって学術の振興及び文化の発展に寄与することを目的とする。

〒812 福岡市東区箱崎七一一一四六 九州大学内

電話（〇九二）六四一一一〇一（内）六四三九  
電話（〇九二）六四一一〇五一五（直）

## 〈歩み〉

昭和五十年三月二十日、文部省から財団法人としての認可を受け、同月二十八日正式に発足した。五十一年、長沼賢海『日本海軍史研究』、田中潔『PCBと複合汚染の医学』、釘宮保雄『動的ポートフォリオ選択の基礎』の三点を、東京大学出版会の協力の下に刊行した。五十二年、阿部雅雄『農村集落論』ほか一点、五十三年、青山道夫『日本家族制度論』ほか二点刊行。この年より主要取次店との取引が開始された。五十四年、秋吉久紀夫『近代中国文学運動の研究』ほか二点、五十五年、吉木武一『西底曳漁業経営史論』ほか七点刊行。この年から地域市民のための開かれた大学としての九州大学公開講座シリーズの刊行を開始。北九州大学法政叢書の刊行を開始。また日本書籍出版協会に入会。五十六年、古川博恭『九州・沖繩の地下水』ほか二点刊行。この年、『平安朝漢詩文の研究』、『イギリス信用貨幣史研究』の二点に対し

て日本生命財団の刊行助成を得る。五十七年、清水孝純『西洋文学への招待』ほか二〇点を刊行。この年より、西日本地区を中心に全国主要書店と常備寄託を開始した。五十八年、『近世九州俳壇史の研究』ほか一七点刊行。五十九年、『教育の人間学的研究』ほか一九点刊行。『古代の博多』は日本生命財団の刊行助成を得た。六十年は四〇点の刊行を予定している。

## 〈最近の刊行物〉

九州大学公開講座11『核を考える』、小林哲也・江淵一編『多文化教育の比較研究』、佐賀大学経済学会叢書2『サービス経済論序説』、松隈清『グロチウスとその時代』、福岡県自治体問題研究所編『子どもの心・からだと学力』、空哲哲郎『英語の語法を考える』、早田輝洋『博多方言のアクセント・形態論』、荒木正見『昔話と人格発達』、アンドレー著、川波剛毅訳『熱帯農業自助開発論』、北原貞輔編『不確実性下の経済・経営システムの研究』、岡橋保『現代信用理論批判』、柚正夫編著『日本の総選挙一九八三年』、成瀬悟策編『発達障害児の心理臨床』

# 最近の刊行状況

## 最近3ヶ年の刊行点数一覧 (分類別)

(昭和57年1月～昭和60年6月)

年度・分類 出版部名	年 度	総 記 数	哲学宗教 心	歴史地理	社会科学 3	自然科学 4	工業工学 5	産 業 6	芸 術 7	語 学 8	文 学 9	計	品 切 絶 版 等
北海道大学 図書刊行会	57	2	0	1	2	2	1	2	0	0	1	11	—
	58	4	0	1	3	2	1	0	0	0	0	11	—
	59	1	0	0	0	8	0	1	0	0	1	11	—
	60(1-6)	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	4	0
慶 應 通 信	57	0	1	0	13	1	0	0	0	1	0	16	—
	58	1	0	3	11	0	0	0	0	0	4	19	—
	59	0	2	4	16	0	0	0	0	1	1	24	—
	60(1-6)	0	2	0	8	0	0	0	0	0	0	10	0
産業能率大学 出 版 部	57	0	0	2	34	1	2	0	0	0	1	40	3
	58	0	0	0	0	37	0	0	0	0	0	37	0
	59	0	0	0	34	0	0	0	0	0	1	35	—
	60(1-6)	0	0	0	16	0	0	0	0	0	0	16	0
玉川大学出版部	57	1	2	0	15	1	2	0	7	0	0	28	—
	58	0	2	0	10	0	0	3	6	0	3	24	1
	59	0	0	1	21	3	0	0	5	0	0	30	—
	60(1-6)	2	0	0	12	0	0	0	7	2	0	23	0
中央大学出版部	57	0	0	0	15	0	1	0	0	0	1	17	1
	58	0	0	2	4	0	0	0	1	0	0	9	2
	59	0	0	0	7	0	0	0	1	0	0	9	—
	60(1-6)	0	0	1	11	0	0	0	0	0	0	12	0
東海大学出版会	57	0	2	3	7	22	5	0	3	0	9	44	1
	58	0	3	3	6	19	10	0	1	1	1	40	2
	59	3	2	2	4	18	8	0	0	1	2	40	1
	60(1-6)	3	2	1	1	13	3	0	0	1	1	24	0
東京大学出版会	57	5	17	21	46	42	9	2	2	0	5	149	3
	58	9	17	16	2	28	10	6	4	0	9	151	1
	59	11	19	84	40	34	14	5	0	0	5	213	—
	60(1-6)	2	4	42	28	21	8	0	0	0	2	107	0
東京電機大学 出 版 局	57	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	19	—
	58	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	19	—
	59	0	0	0	0	0	19	0	0	0	0	19	—
	60(1-6)	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10	0



# 日本生命財団刊行助成図書

□ ここに掲げた図書は、日本生命財団の刊行助成をうけて  
大学出版部協会加盟校によって出版されたものです。

書名	著・訳・編者	判型	頁数	定価	出版部名
<b>第1回(昭和54年度)</b>					
日本稲作の基本問題	矢島 武	A 5	544頁	5,400円	北海道大学図書刊行会
ドイツ社会民主党と カウツキ	山本 左門	A 5	396頁	3,800円	北海道大学図書刊行会
芸術における右と左	中森・衛藤・永井	A 5	294頁	3,500円	中央大学出版部
マイコプラズマ図説	佐々木 正五	B 5	256頁	8,000円	東海大学出版会
熱帯アジアの湖沼と森林	水野 寿彦	B 5	234頁	6,200円	東海大学出版会
高山寺典籍文書の研究	同文書総合調査団	菊	1,300頁	22,000円	東京大学出版会
The San, Hunter-Gatherers of the Kalahari: A Study in Ecological Anthropology	田中 二郎	菊	200頁	3,500円	東京大学出版会
Biochemistry of Normal and Abnormal Epidermal Differentiation	I.A. バーンステイン 清 寺 真	菊	440頁	12,000円	東京大学出版会
高麗朝官僚制の研究	周藤 吉之	A 5	570頁	7,800円	法政大学出版局
近世伊勢湾海運史の研究	村瀬 正章	A 5	456頁	5,800円	法政大学出版局
国際金本位制と ロンドン金融市場	西村 閑也	A 5	460頁	5,800円	法政大学出版局
李太白詩歌全解	大野 実之助	B 5	1,608頁	37,000円	早稲田大学出版部
英米国際私法判例の研究 国際身分法序説	本 浪 章 市	A 5	560頁	9,400円	関西大学出版部
<b>第2回(昭和55年度)</b>					
北海道の住宅と住様式	足立富士夫 他	A 5	400頁	6,000円	北海道大学図書刊行会
近代北海道史研究序説	桑原 真人	A 5	512頁	4,500円	北海道大学図書刊行会
イギリス小説研究序説	深 沢 俊	B 6	338頁	2,000円	中央大学出版部
堆積盆中の流体移動	杉山隆三 他	B 5	368頁	6,000円	東海大学出版会
Immunofluorescence in Medical Science	川村明義・青山友三	菊	280頁	6,500円	東京大学出版会
Asian Village Economy at the Crossroads	速水佑次郎・菊地真夫	菊	290頁	4,000円	東京大学出版会
都市・地域解析の方法	奥 平 耕 造	A 5	320頁	6,800円	東京大学出版会
近世入来文書	阿部・古川・本田	B 5	500頁	20,000円	東京大学出版会
電離気体の原子・分子過程	J. S. Chang 金 田 輝 男 他	A 5	442頁	4,800円	東京電機大学出版局
雨乞習俗の研究	高 谷 重 夫	A 5	746頁	8,500円	法政大学出版局
治承・寿永の内乱論序説	浅 香 年 木	A 5	480頁	6,800円	法政大学出版局
古典派経済学と『資本論』	時 永 淑	A 5	450頁	6,800円	法政大学出版局
現代アジア社会の研究	福 永 安 祥 他	A 5	306頁	2,300円	明星大学出版部
新旧細胞学の接点と展開	湯 浅 明	A 5	442頁	5,000円	明星大学出版部
平安朝漢詩文の研究	金 原 理	A 5	464頁	6,000円	九州大学出版会
イギリス信用貨幣史研究	楊 枝 嗣 朗	A 5	536頁	7,500円	九州大学出版会



## 日本生命財団刊行助成図書

□ここに掲げた図書は、日本生命財団の刊行助成をうけて  
大学出版部協会加盟校によって出版されたものです。

書名	著・訳・編者	判型	頁数	定価	出版部名
<b>第3回(昭和56年度)</b>					
大工頭中井家文書	高橋正彦	A5	430頁	5,500円	慶応通信
難	子 今尾哲也・田中伝左衛門	A5	240頁	3,200円	玉川大学出版部
先進林業地帯の史的研究	本吉瑠璃夫	A5	460頁	9,300円	玉川大学出版部
動物行動の意味	日高敏隆	A5	270頁	3,500円	東海大学出版会
Engineering Seismology	金井清菊	A5	270頁	6,000円	東京大学出版会
日本コレラ史	山本俊一	A5	960頁	12,000円	東京大学出版会
ドイツ財政統計1872-1913	加藤栄一・林健久	B5	130頁	5,600円	東京大学出版会
南海香葉譜	山田憲太郎	A5	690頁	8,500円	法政大学出版局
奄美民俗文化の研究	小野重朗	A5	520頁	6,500円	法政大学出版局
大阪府神社本殿遺構集成	櫻井敏雄・多田準二	A4	508頁	20,000円	法政大学出版局
Multiple Sclerosis East and West	黒岩義五郎 レオナルド・カーランド	A5	400頁	7,800円	九州大学出版会

## 第4回(昭和57年度)

スズメバチ類の比較行動学的研究	松浦誠・山根正気	A5	440頁	5,400円	北海道大学図書刊行会
中枢神経実験法	山下格・山内俊雄	A5	520頁	5,000円	北海道大学図書刊行会
海と漁の伝承と科学	宇田道隆・石野誠	A5	396頁	7,200円	玉川大学出版部
環境創造の行政学的研究	宇都宮深志	A5	580頁	6,500円	東海大学出版会
重症心身障害児の教育方法	中田基昭	A5	620頁	10,000円	東京大学出版会
空中写真による日本の火山地形	日本火山学会	A4	200頁	8,500円	東京大学出版会
Climate and Agricultural Land Use in Monsoon Asia	吉野正敏	A5	370頁	10,000円	東京大学出版会
Pacific Neogene Datum Planes	池辺展生・土隆一	A4	310頁	12,000円	東京大学出版会
軍艦島実測調査資料集	阿久井喜孝・滋賀秀実	A4	710頁	14,000円	東京電機大学出版局
中世惣村史の研究	仲村研	A5	560頁	6,800円	法政大学出版局
年々留 - 鏡屋五兵衛日記 -	若林喜三郎	A5	400頁	5,000円	法政大学出版局
関東河川水運史の研究	丹治健蔵	A5	480頁	5,800円	法政大学出版局
視覚障害とその代行技術	市川・大頭・鳥居・和気・清水	A5	320頁	3,800円	名古屋大学出版会
古代の博多	中山平次郎・岡崎敬	B5	410頁	10,000円	九州大学出版会
近世九州俳壇史の研究	大内初夫	A5	740頁	8,800円	九州大学出版会

## 大学出版部協会役員 (1985年6月30日現在)

幹事長	石井 和夫 (東京大学出版会)
幹事(総務担当)	高野 昭吉 (東京電機大学出版局)
"    "    "	加藤千曼樹 (東海大学出版会)
"    (会計担当)	小野沢公男 (産業能率大学出版部)
"    (編集担当)	関野 利之 (玉川大学出版部)
"    (営業担当)	阿部 好文 (法政大学出版局)
"    (広報担当)	長沼 末広 (中央大学出版部)
"    (国際担当)	城下 幸雄 (早稲田大学出版部)
"    (副役担当)	三浦 邦宏 (明星大学出版部)
監事	山国 顕 (慶應通信)
編集部会(部会長)	粕谷 正利 (産業能率大学出版部)
(副部会長)	丸山とも子 (明星大学出版部)
営業部会(部会長)	惣塚 一雄 (東京大学出版会)
(副部会長)	高橋 一夫 (産業能率大学出版部)
"    "	釘澤 雅春 (玉川大学出版部)
"    "	松岡 茂和 (東海大学出版会)
"    "	鎌田 靖彦 (法政大学出版局)
"    "	唐沢 幹雄 (早稲田大学出版部)
常任顧問	中平千三郎 (東京大学出版会)
顧問	箕輪 成男 (国連大学出版部)
"    "	田口迪太郎 (玉川百科刊行会)

### 16大学出版部代表者及び協会・部会等担当者一覧

	代表者	協会担当	営業部会	編集部会	刊行助成担当
北大図書刊行会	安井 勉	前田 次郎	菅波 秀樹	田宮 治男	田宮 治男
慶應通信	遺祖王廣一	山国 顕	高橋 忠身	野村 正信	今井 壮
産業能率大学出版部	上野 一郎	小野沢公男	高橋 一夫	粕谷 正利	小野沢公男
玉川大学出版部	小原 哲郎	関野 利之	釘澤 雅春	成田 隆昌	宮原 正弘
中央大学出版部	桃井 直造	長沼 末広	水村 松泉	矢崎 英明	田中 浩
東海大学出版会	松前 達郎	山田 涉	松岡 茂和	木下 正之	三浦 義博
東京大学出版会	田中 英夫	石井 和夫	惣塚 一雄	小池美樹彦	奈良 節夫
東京電機大学出版局	蓮見 孝雄	高野 昭吉	桑田 佳雄	岩下 行徳	朝武 清実
東京農業大学出版会	西郷 光彦	菊地 徳治	行元 鐵夫	佐藤 勝彦	藤村 洋
東京理科大学出版会	橘高 重義	鈴木 武敏	能城 隆	鈴木 武敏	鈴木 武敏
法政大学出版局	青木 宗也	阿部 好文	鎌田 靖彦	秋田 公士	平川 俊彦
明星大学出版部	児玉 九十	三浦 邦宏	三浦 邦宏	丸山とも子	丸山とも子
早稲田大学出版部	清水 望	城下 幸雄	唐沢 幹雄	寺山 浩司	鈴木 吉郎
名古屋大学出版会	井関弘太郎	伊藤 八郎	伊藤 八郎	稲垣美智子	伊藤 八郎
関西大学出版部	久井 忠雄	井内 雄二	井内 雄二	井内 雄二	井内 雄二
九州大学出版会	水波 朗	藤木 雅幸	鳥井 四朗	平田 修子	藤木 雅幸

## 大学出版部協会加盟出版部一覽

北海道大学図書刊行会	〒060 札幌市北区北8条西8丁目 クラーク会館 TEL.011-747-2308
慶應通信	〒108 東京都港区三田2-19-30 TEL.03-451-3584
産業能率大学出版部	〒152 東京都目黒区自由が丘2-16-5 自由が丘サンビル4F TEL.03-724-9101 FAX.03-714-4346
玉川大学出版部	〒194 東京都町田市玉川学園6-1-1 TEL.0427-28-3213
中央大学出版部	〒190-03 東京都八王子市東中野742-1 TEL.0426-74-2351
東海大学出版会	〒160 東京都新宿区新宿3-27-4 新宿東海ビル TEL.03-356-1541 FAX.03-380-6436
東京大学出版会	〒113 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学構内 TEL.03-811-8814 FAX.03-812-6958
東京電機大学出版局	〒101 東京都千代田区神田錦町2-2 TEL.03-294-1551
東京農業大学出版会	〒156 東京都世田谷区桜丘1-1-1 TEL.03-420-2131
東京理科大学出版会	〒162 東京都新宿区神楽坂1-3 TEL.03-260-4271 FAX.03-260-4294
法政大学出版局	〒102 東京都千代田区富士見町2-17-1 TEL.03-237-1731 FAX.03-237-8899
明星大学出版部	〒102 東京都千代田区飯田橋4-1-11 信濃ビル TEL.03-239-3436 FAX.03-263-5754
早稲田大学出版部	〒160 東京都新宿区戸塚町1-103 TEL.03-203-1551
名古屋大学出版会	〒464 名古屋市千種区不老町1 名古屋大学構内 TEL.052-781-5027
関西大学出版部	〒564 吹田市山手町3-3-35 関西大学会館 TEL.06-388-1121
九州大学出版会	〒812 福岡市東区箱崎7-1-146 九州大学構内 TEL.092-641-0515



1985

大学出版部協会事務局

〒113 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学出版会内 TEL(03)812-2111 代表 内線7954